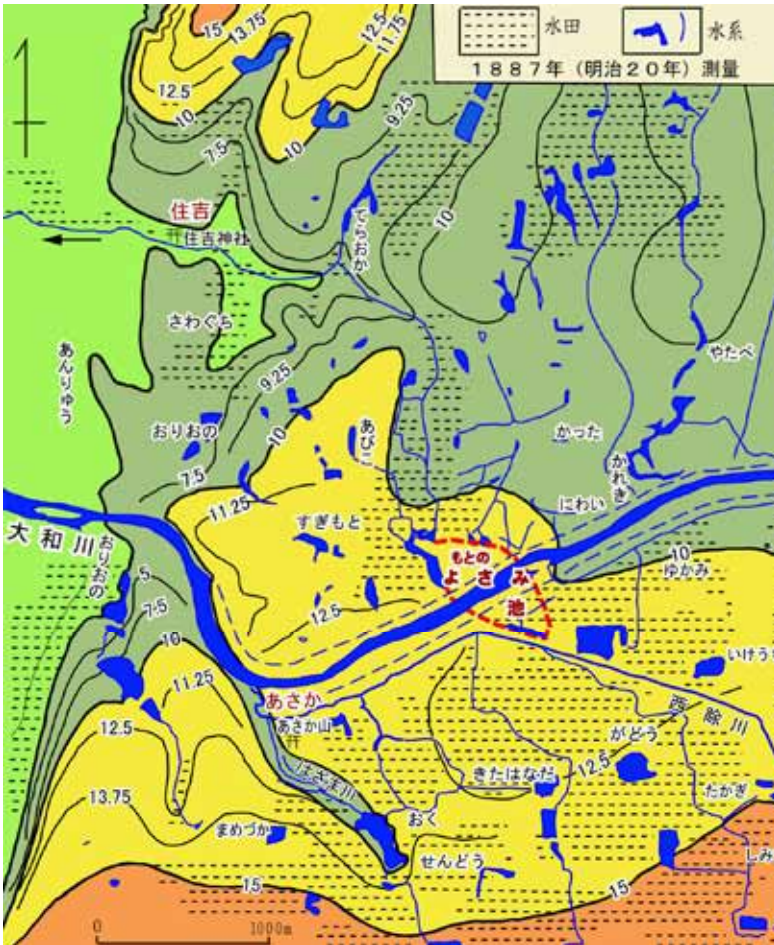


よさみいけ あさかやま  
**依網池と浅香山**

**大和川が浅香で大きく曲がっているのはなぜだろう**



明治時代の土地の高さがわかる地図で考えましょう。

北西へ自然に低く流せそうですが、住吉大社など大きなまちにあたります。西には<sup>よさみ</sup>依網池や浅香の谷がありました。そこで、台地の部分を9mほど掘り下げて浅香・<sup>はざま</sup>狭間川に合流

させたようです。その土で池をうめて田畑がつけられました。大和川は、<sup>よさみ</sup>依網池のまん中を通り、北に流れていた<sup>にしよけがわ</sup>西除川も池の南がわにつけ



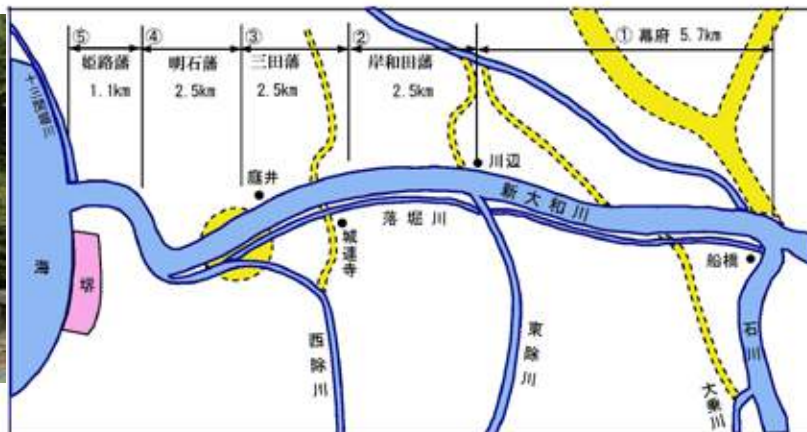
**大和川池中貫通見取り図**

かえ、浅香で合流させました。

おおよさみじんじゃ <sup>いけなにかんつう み と</sup>大依羅神社には「大和川池中貫通見取り図」があります。



おおよさみじんじや  
大依羅神社の南門



## 大和川つけかえ工事の分担

中好幸「改流ノート」より

(黄色は川や池のあと) (塚はピンクの部分だけだった)

## きつねが浅香山の工事を助けた？！

工事は海からすすめられ、浅香山のほり下げに苦勞して  
ました。担当していた<sup>ひめじはん</sup>姫路藩の<sup>とのさま</sup>殿様がなくなり、きつねのた  
たりだと考えた人々は、浅香山稲荷をまつり直し、きつねの  
<sup>くよう</sup>供養をしました。すると夜中にきつねがばけて工事を助けた  
という<sup>でんせつ</sup>伝説があり  
ります。

神社には、大和  
川つけかえ工事  
<sup>ぶぎょう</sup>奉行が<sup>きしん</sup>寄進した  
<sup>いしどうろう</sup>石灯籠や<sup>ちようず</sup>手水鉢  
が残っています。



浅香山稲荷神社



大久保奉行の名が  
きざまれた石灯籠

♥ . . . 考えよう・調べよう . . . ♥

Q 西除川は、どこから流れていますか。東除川についても  
しらべましょう。